

活動レポート

青年技術士交流委員会

夏期研修会「北の技術を語り継ぐ」の報告

■ 研修会報告

去る平成19年7月27日(金)にKKRホテル札幌にて、夏期研修会「北の技術を語り継ぐ」を開催しましたので、その概要をご報告します。

なお、「北の技術を語り継ぐ」は、過去に偉大な功績を残された先人技術者が、技術的課題や障害をどのように克服していったのか、そのお話を聞き、我々青年技術士が次世代に語り継いでいこうという企画で、今回はJR北海道の話題を取り上げました。



小澤技術士

日時：平成19年7月27日(金)15:00～16:45

講演1：「JR北海道の経営概要と冬期における
当社独自の取り組みについて」

北海道旅客鉄道株式会社 経営企画部 主幹

小澤 直正 講師 技術士(建設部門)

講演2：「デュアル・モード・ビークル(DMV)
の開発と今後の展望」

北海道旅客鉄道株式会社 技術創造部 部長

佐藤 巖 講師 技術士(機械部門)

まず、当青年技術士交流委員会幹事の小澤直正技術士より、「JR北海道の経営概要と冬期における当社独自の取り組みについて」と題して、寒冷地にある鉄道会社特有の冬期対策についてご紹介いただきました。

ご講演では、「北海道は多くの過疎地域を抱えるため鉄道事業が成り立たない線区が多々存在すること」、「雪が降ると関東以南では大幅な輸送障害が発生することが多いが、北海道では輸送障害が発生することが少ない理由」等、厳しい経営環境の中、安全・安定輸送を確保するための北海道の取り組みについてわかりやすくご紹介いただきました。

次いで、「北の技術を語り継ぐ～デュアル・モード・ビークル(DMV)の開発と今後の展望」と題して、北海道旅客鉄道株式会社で今話題のDMVについての開発を手がけられた佐藤巖技術士にご講演いただきました。

ご講演では、DMVについて、開発の歴史や目的、実用化に向けた取り組み、海外への展開、さらには平成19年4月から始まった釧網線における試験的営業運行の概要と今後の展望について大変内容の濃い講演会となりました。



佐藤技術士



講演会の様子

講演会の後は、恒例の参加者による懇親会を開催しました。懇親会では、研修会とは違った雰囲気では佐藤様を囲んでの会話や、出席者同士の情報交換のざっくばらんな話に花が咲きました。

また、懇親会終了後、別件で来道されていた中部青年技術士会の幡野理事長と坪内副会長が合流され、お互いの活動状況等について情報交換を行いました。

■ 平成 19 年度後期の活動計画

本委員会では、青年技術士の資質向上や技術の研鑽、会員相互の交流の場の提供を目的として、平成 19 年度後半も「技術力の向上」をテーマとした「テクニカルスクール」講座と、「北海道の技術」をテーマとした講演会を開催する予定です。

詳細については、随時、(社)日本技術士会北海道支

部ホームページ、青年技術士交流委員会ホームページ、EPO 等でご案内させていただく予定です。

■ 青年技術士交流委員会の新体制について

春期総会で承認をいただいた後、公募により幹事の増員を行いました。新体制は以下のとおりです。

第 10 期青年技術士交流委員会体制

委員長	丹治 和博（建設／総合）
副委員長	谷村 昌史（建設／総合）、天沼 宇雄（建設／総合）、松澤 勝（建設）、樋詰 透（建設）
幹事長	奈良 照一（建設／総合）
幹事	米川 康（応用理学）、小澤 直正（建設）、林 英雄（農業）、原田 哲郎（上下水道）、井上 涼子（建設）、大槻 政哉（建設）、田中 真也（農業）、岡 宣克（建設）、小山田 応一（情報工学）、西村 一郎（上下水道）、服部 唯之（建設）、川島 由載（建設／総合）、川村 力（建設）、永井登茂美（建設）、永田 泰浩（建設）、滝澤 嘉史*（建設）、福岡 博史*（建設／環境／総合）、佐光 正和*（建設）、山本 太郎*（建設／総合）、田中 雄太*（建設／総合）、長谷川圭一*（建設）

※：公募による新幹事

（文責：青年技術士交流委員会幹事 奈良 照一）

— EPO（エンジニア・パーク・オンライン）のご紹介 —

日本技術士会北海道支部の会員、準会員、賛助会員の方を対象としたメーリングリスト（メールを登録会員全員に同報配信する仕組み）です。EPO では、主に「特定の事柄に詳しい人を探したり」、「講習会や行事等の案内」、「会員相互の様々な情報交換」などに活用されています。登録を希望される方は、①氏名、②所属、③日本技術士会北海道支部の会員・準会員・賛助会員の該当、④そのほか（自己紹介や抱負等）をお書きの上、メーリングリスト登録希望の旨を記入して、以下のメールアドレスまで e メールをお送り下さい。

（EPO 登録申し込みアドレス）seigikyo@ipej-hokkaido.jp